

平成 27 年 11 月 7 日に開催し、今回で第 12 回目を迎えました。

たんぽぽの会は、オストメイトが交流できる場として発足した患者会です。当院でストーマ造設された方、ストーマ外来に通院されている方をお招きし年 1 回開催しています。

当院では、病棟看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師 2 名でストーマケアチームを結成しており、その活動の一環としてたんぽぽの会を運営しています。

毎年、たんぽぽの会ではテーマを決めて研修や座談会を行っており、過去にはにおい対策・社会保障・災害時対策・ストーマの歴史などのお話しをしてきました。今年も、オストメイト同士が気軽に話していただける様、茶話会を開催しました。普段の生活で困っていることやそれに対しどのような対策が良いのか等、患者様から次々と意見が出て活発に話し合うことができました。

この会についての感想を率直に聞くと、『オストメイト同士で話ができて嬉しい』『ストーマ造設した先輩の話をきいて安心したり、為になる話をきける』、入院中の患者様からは『オストメイトが自分だけではなく、退院後元気に過ごしている方々の姿をみて安心した』という意見がありました。来てくださった皆様にお会いでき、自宅でのお話をきける機会となり、看護師も楽しく過ごすことができました。

来年も開催予定で、次はどのようなテーマにするかみんなで一生懸命考えているところです。他院で手術をされた方でも、当院のストーマ外来を一度でも受診された方は本会への参加が可能ですので、是非ご紹介下さい。

ストーマチーム看護師 赤川舞弥



【地下鉄学園都市駅から】山陽バス・神戸市バス 約 12 分

- 4 8 系統 学が丘 1 丁目下車 徒歩 5 分
- 5 1 系統 学が丘 1 丁目下車 徒歩 5 分
- 5 3 系統 本多聞 4 丁目下車 徒歩 5 分
- 1 2 1 系統 掖済会病院下車
- 1 7 1 系統 掖済会病院下車

【地下鉄学園都市駅から】山陽バス・神戸市バス 約 12 分

- 4 8 系統 学が丘 1 丁目下車 徒歩 5 分
- 5 1 系統 学が丘 1 丁目下車 徒歩 5 分
- 5 3 系統 本多聞 4 丁目下車 徒歩 5 分
- 1 2 1 系統 掖済会病院下車
- 1 7 1 系統 掖済会病院下車

【地下鉄名谷から】山陽バス 約 20 分

- 5 系統 (山陽バスのみ) 掖済会病院下車

【JR 垂水駅から】山陽バス・神戸市バス 約 20 分

- 5 系統 (山陽バスのみ) 掖済会病院下車
- 7 系統 (山陽バスのみ) 掖済会病院下車
- 2 3 系統 (山陽バスのみ) 掖済会病院下車
- 4 8 系統 学が丘 1 丁目下車 徒歩 5 分
- 1 7 1 系統 掖済会病院下車



〒655-0004
 神戸市垂水区学が丘 1 丁目 21 番 1 号
 TEL : 078-781-7811 (代表)
 FAX : 078-781-1511
<http://www.kobe-ekisaikai.or.jp>



講演

名古屋掖済会病院における救急災害医療について

このほど、名古屋掖済会病院の副院長・救命救急センター長の北川先生に来てもらいご講演いただきました。同センターには毎年、当院の 2 年目研修医が 1 か月お邪魔し、一流と言われる救命センターを経験させてもらっています。当院に戻った研修医に感想を聞いてみると、口をそろえて“症例の多さに驚いた”と答えます。

北川先生は、このたびの講演で、救命救急センターの実情や問題点と南海トラフ大地震を見据えた、防災・減災への取り組みについてお話されました。

前者では、センター開設後の救急患者の増加、しかも増加の多くは 1 次救急であること、いわゆる専任救急医の数の確保の問題、救急期を過ぎた後の受け入れ科や他の病院との連携の問題等について述べられていました。DPC が始まって以来、特に、移行型や療養型病院との連携作業は重要であるにも係わらず、連携が十分にいけない場合も少なくないことは、皆様もお感じになったことがあるのではないのでしょうか。また患者やその家族の希望に添えない場合も多く、この問題には病院、患者、政治が一緒になった取り組みが必要であると私は思っていますが、皆さんは如何お考えでしょうか。

名古屋掖済会病院は海岸線に近い事もあり、南海トラフ大地震に対しては身近なものとして捉え、準備をしておられるようでした。大震災については、神戸はすでに経験したところであり、その恐ろしさは良く理解できます。災害は忘れた頃にやってくる、とは昔からよく言われており、皆さんのよく知る格言であります。“忘れた頃”、が明日であるかも知れない事を改めて肝に銘じなければならないと再確認をさせられました。



最後に、今回、ご多忙の中多くの方に講演にご参加頂きありがとうございました。係一同感謝しております。

研修会管理委員会
 委員長 村上龍助

あじさいの会



『あじさいの会』は乳がんの患者様が抱える共通の悩みや今後についての不安を患者様同士が話し合い、共有する場となっています。

年々乳がんの患者様が增加しており、あじさいの会への参加希望も多くなってきております。ここ 2 年程は大ホールを借りての開催でしたが、アンケートの中には「小規模でじっくり他の方とお話したい」のご意見もある事から、これからは患者様のニーズに合わせて、より良い会を患者様、職員と一緒につくっていききたいと思います。

リマンチーム看護師 持井まどか

【地域医療連携の会及び懇話会】開催

開催日時 平成 28 年 4 月 21 日 (木) 地域医療連携の会 18 時 30 分～

懇話会 19 時 30 分～

場所 舞子ビラ

MRI装置増設のお知らせ

放射線科 技師長 藤原 秀章



MRI 検査の需要の増加に対応すべく、本院では2台目のMRI 装置（フィリップス社製 INGENIA 1.5T）を導入することになりました。

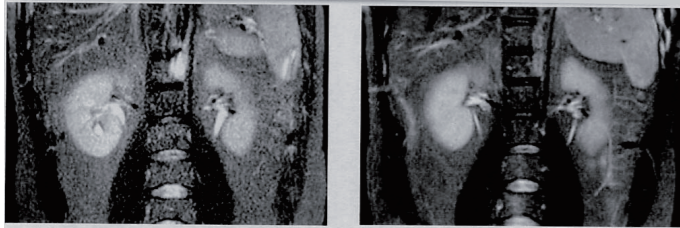
新装置は高性能で、検査時間も短く、トンネル部分も従来に比べ大きくなり圧迫感が少なくなりました。

また金属による画像の歪みも軽減され幅広い患者様の検査が行えます。

新装置の主な特徴

☆完全デジタル化によるノイズの減少

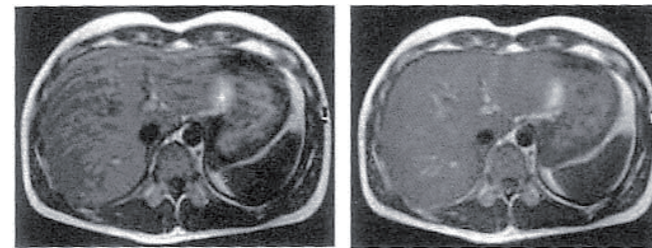
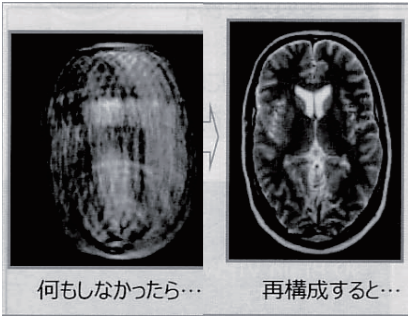
各部位に使用するコイルの精度が改善され撮影時間の短縮と画質が向上します。



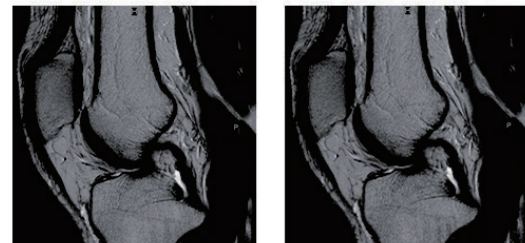
図A) 旧来のアナログコイルで撮像された画像 図B) デジタルコイルのdStreamで撮像された画像

☆患者様が動いても鮮明な画像が得られる体動補正機能や呼吸同期機能の向上。

小児の撮影や呼吸により静止が出来ない部位腸管などの動きにも対応します。

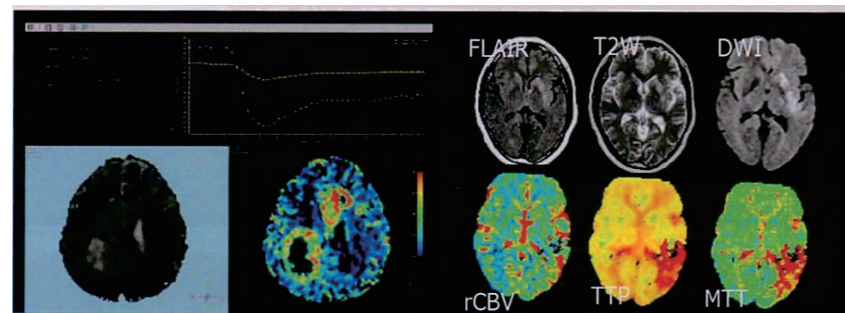


☆解像度を維持したままで撮像時間が短縮（従来の半分）

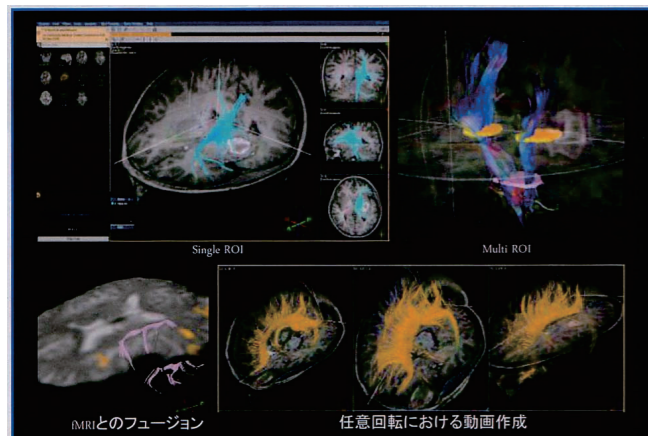


NO SENSE 撮像時間 04:52 min
SENSE 撮像時間 02:29 min
T2W/ TSE, Matrix 512, スライス厚3.0mm

☆局所脳血流量の解析



☆脳内神経の画像表示

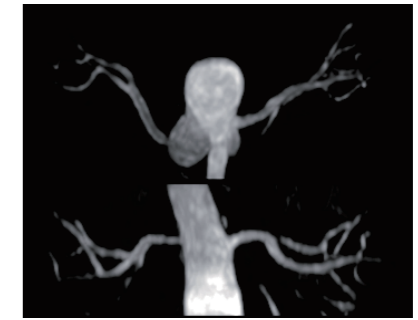


脳神経などの撮影が可能になり手術前の情報が取得出来ます。

☆非造影 MRA (MR アンギオ) 機能が向上



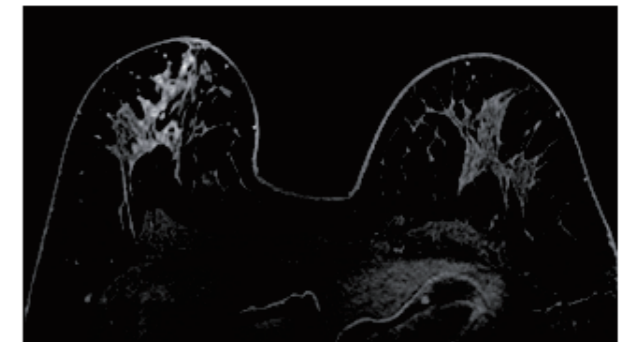
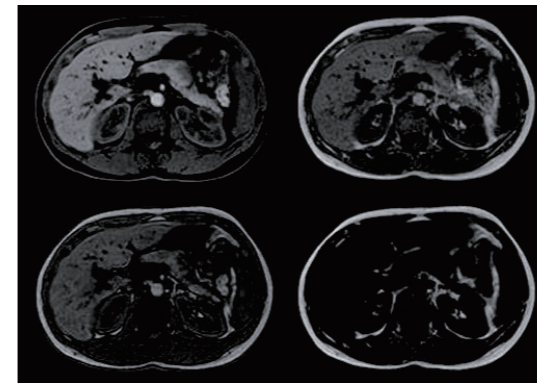
全下肢非造影 MRA (心電図同期撮像)



腎動脈 MRA (呼吸同期撮像)

CT では造影剤を使用しなければ撮影出来なかった、血管撮影が造影剤を使わずに行える為、腎機能の悪い方でも安心して検査を行えます。(石灰化による障害陰影もありません。)

☆腹部臓器の抽出機能が向上

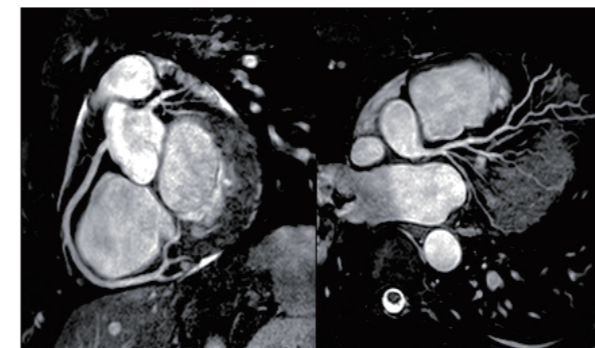


両側同時の造影ダイナミック検査

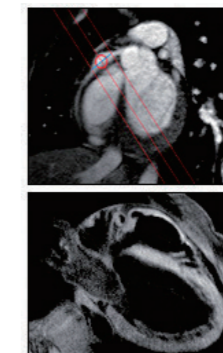
息止め時間も格段に短くなりました。

両側同時に検査できます。

☆心臓検査

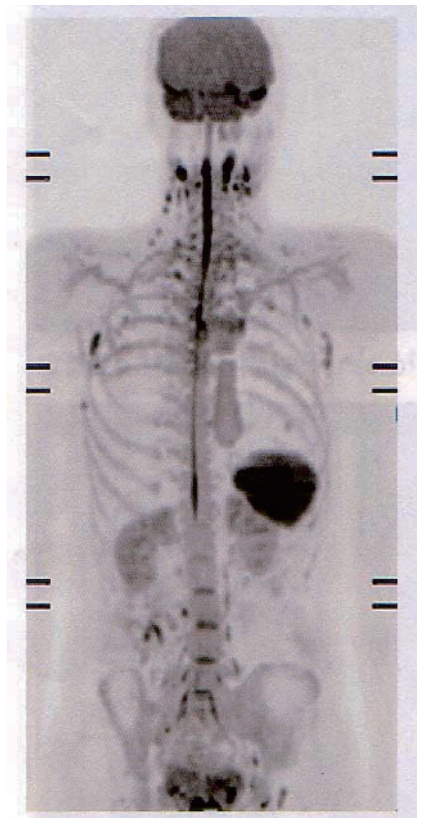


冠動脈 MRI (造影剤も用いない、被曝のない検査)



冠動脈瘤症例

従来、CT や RI といった放射線被ばくを伴う検査が必要であった、悪性腫瘍の術前検査や心臓検査の一部についても、被曝の心配なく低コストで行えるようになります。



☆全身腫瘍検索